

Economic Indicators

発表日:2021年11月9日(火)

2021年7-9月期GDP予測(最終版)

～前期比年率▲0.7%と予想～

第一生命経済研究所 調査研究本部

経済調査部長・首席エコノミスト 新家 義貴 (Tel:03-5221-4528)

2021年7-9月期GDP予測

(%)

11月15日に公表される2021年7-9月期の実質GDP成長率を前期比年率▲0.7%（前期比▲0.2%）と予測する。10月29日の段階では前期比年率▲1.1%（前期比▲0.3%）と予想していたが、その後公表された経済指標の結果を反映し、予測値を若干上方修正する。

本日公表された21年9月分の国際収支統計の結果を反映し、21年7-9月期の実質輸出の予測値を前期比▲1.9%（従来予測値：同▲2.9%）に上方修正、実質輸入を前期比▲2.8%（従来予測値：同▲2.6%）に下方修正した。9月の輸出について、財、サービスとも筆者の想定を上回ったことが理由である。こうした輸出の上方修正に伴い、外需寄与度の予測値は前期比年率+0.7%Ptと、従来予測値（同▲0.2%Pt）から上方修正している。自動車減産の影響で輸出は減少したが、輸入がそれ以上に減少したことから、外需寄与度はプラスが見込まれる。

一方、11月5日に公表された9月分の家計調査と家計消費状況調査の結果を反映したことで、個人消費の予測値を前期比▲0.6%（従来予測値：同▲0.4%）へと下方修正した。これらを踏まえ、21年7-9月期の実質GDP成長率を前期比年率▲0.7%と予測する。

7-9月期は、個人消費や設備投資といった内需に加え、輸出も落ち込むなどほぼ全面的に悪化するとみられる。プラスに寄与する需要項目は、ワクチン接種費用が計上される政府消費と、輸入の減少、在庫変動とみられるが、どれも景気判断の上で前向きに評価できるものではない。表面上の数字以上に内容は悪いとみるべきだろう。

（需要項目ごとの予測値の解説は、「2021年7-9月期GDP（1次速報）予測」（10月29日発行）をご参照ください）

実質GDP	▲ 0.2
（前期比年率）	▲ 0.7
内需寄与度	▲ 0.3
（うち民需）	▲ 0.4
（うち公需）	0.1
外需寄与度	0.2
民間最終消費支出	▲ 0.6
民間住宅	▲ 0.2
民間企業設備	▲ 0.9
民間在庫変動（寄与度）	0.1
政府最終消費支出	0.8
公的固定資本形成	▲ 2.0
財貨・サービスの輸出	▲ 1.9
財貨・サービスの輸入	▲ 2.8

※断りの無い場合、前期比(%)

(出所)内閣府「国民経済計算」、第一生命経済研究所

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

